

高齢者のお困りごとは

大垣市 地域包括だより

検索

地域包括に相談しよう

今号では地域包括支援センターへの相談の仕方や活用法などをご紹介します。同センターをご理解いただき、お困りの際には遠慮なくご相談ください。

特 徴

高齢者の何でも相談窓口です。市内を 7 つの地区に分けて対応させていただきます。保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門職が対応し、適切なサービスの紹介や、お困りごと解決のための支援をさせていただきます。

相談内容

介護サービスを使いたいと思うんだけど、どうしたらいいのか…

ご近所の高齢者を最近見かけていないから心配だ…

最近、物忘れがひどくなってきた気がする…

困りごとがあっても、どこに相談したらいいかわからない…

※その他、高齢者の様々な相談に対応させていただきます。

相談方法

① 電話相談



② 来所相談



③ 訪問相談



※ご相談者の意向に合わせ、様々な相談方法に対応いたします。
※また、匿名でのご相談でも構いません。

相談対応の一例

- ① **ご相談を受ける** ➡ ② **訪問・聞き取り** ➡ ③ **関係者の話し合い** ➡ ④ **支援やサービスを開始**
- まずはご相談内容を丁寧にお伺いします。内容により、適切な機関にお繋ぎすることもあります。
- ご自宅などを訪問し、詳しい状況の把握を行います。お話を伺いながら、お困りごとを明らかにしていきます。
- お困りごとの解決のため関係者を集め、支援の方向性を話し合います。この会議を“地域ケア会議”と呼んでいます。
- 地域ケア会議で話し合ったことを実施していきます。

ご相談内容により、様々な対応方法があります。また、必要に応じ、支援開始後のフォローも行います。

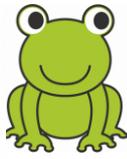
◎守秘義務について◎

地域包括支援センターには守秘義務があります。相談の内容に関わらず、許可なく情報を外部に提供することはありません。当事者様、ご家族様の他、ご近所や地域の困りごとなどについても安心してご相談ください。

★ 脳のトレーニングで認知症予防 ★

仲間はずれをさがそう！

①



②



ほ(う)か(つ) 掲示板

☆ 9月1日は防災の日

地震・台風・河川の氾濫…、いつ起こるか分からない災害に対して、皆さんの備えはありますか？
避難場所の確認や非常用持ち出し袋の準備など、もしもの時に備えておくことが大切です。
今号では、非常用持ち出し袋の中身についてお話ししたいと思います。

袋の中には・・・

- ・飲料水（500ml ×4本くらい）
- ・非常食（カンパン、レトルト食品など）
- ・ラジオ（蓄電できるものが良い）→情報源となる
- ・ライト
- ・電池
- ・お金（お札だけではなく小銭があると良い）
- ・筆記用具
- ・軍手
- ・薬（体調に合わせ必要なものを準備しておくとうい）
- ・生理用品
- ・はさみ、カッターナイフ（さまざまな場面で使えるため必需品）
- ・タオル
- ・ガムテープ（衣類の応急処置や伝言を書く）
- ・ライター
- ・雨具
- ・ブルーシート、ポリ袋（防寒にも役立ちます）
- ・ラップフィルム
- ・トイレットペーパー、ウェットティッシュ など



非常用持ち出し袋は、両手をあけることを考えてリュックサックで準備しましょう。

■大垣市地域包括支援センター

○大垣市役所内 ☎82-1166【担当地区】安井・川並・洲本・浅草

■地域包括支援センター大垣市社会福祉協議会

○総合福祉会館内 ☎77-2255【担当地区】興文・東・西・南・南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎

○在宅福祉サービスステーション内 ☎84-7111【担当地区】和合・三城・墨俣

○上石津老人福祉センター悠楽苑内 ☎48-0068【担当地区】上石津

■大垣市地域包括支援センターお勝山

○お勝山ふれあいセンター内 ☎71-5536【担当地区】宇留生・赤坂・青墓

■大垣市地域包括支援センター中川ふれあい

○中川ふれあいセンター内 ☎82-1701【担当地区】北・中川